

令和3年度第5回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
1 資料1	2～3	No.3 「つながり創り推進課」や「①ワークセンター」「②0円ショップ」など具体的な提案をいただいているので、こうした意見に沿った施策を実施できるよう、取り組んでいきたい。	パブリックコメントにて、いただいたご意見については最大限尊重しながら、今後の福祉行政に取り組んで参ります。 その中で住民や委員のみなさま、各関係機関とも連携しながら進めてまいります。
2 資料1	5	No.8 「今までのやり方でない新しい「何か」「今の新しい世代の方たちにあったやり方が必要」とのご意見に対して「地域住民と企業やNPO等を含めた多様な組織が相互に連携した、協働によるまちづくりの推進が重要だ」という紋切り型の回答では、それこそ、「今まで」どおりなのではないか。例えば「新しく福祉の事業化が生み出せるような仕組みづくりや若いデジタル世代が新たな福祉の領域にチャレンジできる試みを応援してまいります」というような回答はできないものか。	計画に記載した部分より、さらに踏み込んだ具体的な手法や事業内容については、今後の取組の中で検討していきたいと考えております。
3 資料1	6	No.13 「福祉施設」の魅力アップのご意見に対して「正確な情報をより多くの人に届けるため、個々に合った広報媒体での発信を推進します」という回答は、かみ合っていない。例えば「福祉施設で働く若者の声を広報で紹介するなどイメージアップに取り組んでまいります」などの回答はできないか。	該当の部分につきましては、情報発信の推進という部分において、「推進のプログラム具体的な取組 5-(3)-48」に要素として含んでいると認識しております。 さらに踏み込んだ具体的な手法については、今後の取組の中で検討していきたいと考えております。
4 資料1	全般	「第3期宇治市地域福祉計画」はあくまで、今後、12か年にわたって宇治市が「地域福祉」の分野で進めていくとする「方向性」を示したものにすぎない。したがって、今後、この「方向性」に沿って「地域福祉の推進を担う者」がどのような事業を実施していくのか、「地域福祉推進のプログラム」にのっとって検証していくことがもっとも重要と考える。いわゆるPDCAのサイクルでの進行管理を担うことが、地域福祉推進委員会に課されており、宇治市との緊張関係ももちながら職責を果たしていきたい。	お見込みのとおり、「宇治市地域福祉計画」については、いわゆる理念計画であり、この地域福祉推進の理念に基づく「地域福祉推進のプログラム」に則って、今後取り組みを進めていくことが重要と考えております。 その中で住民や委員のみなさま、各関係機関とも連携しながら進めてまいります。